

(2) 平成23年の指数の動き

総合指数の対前年比0.9%の下落に対する10大費目別寄与度をみると、光熱・水道が0.24%、交通通信が0.17%、諸雑費が0.28%とプラスに寄与したが、家具・家事用品が▲0.18%、教養娯楽が▲1.03%となり、大幅なマイナスとなった。

(表2、図2)

表2 10大費目指数、前年比および寄与度

(H22=100)

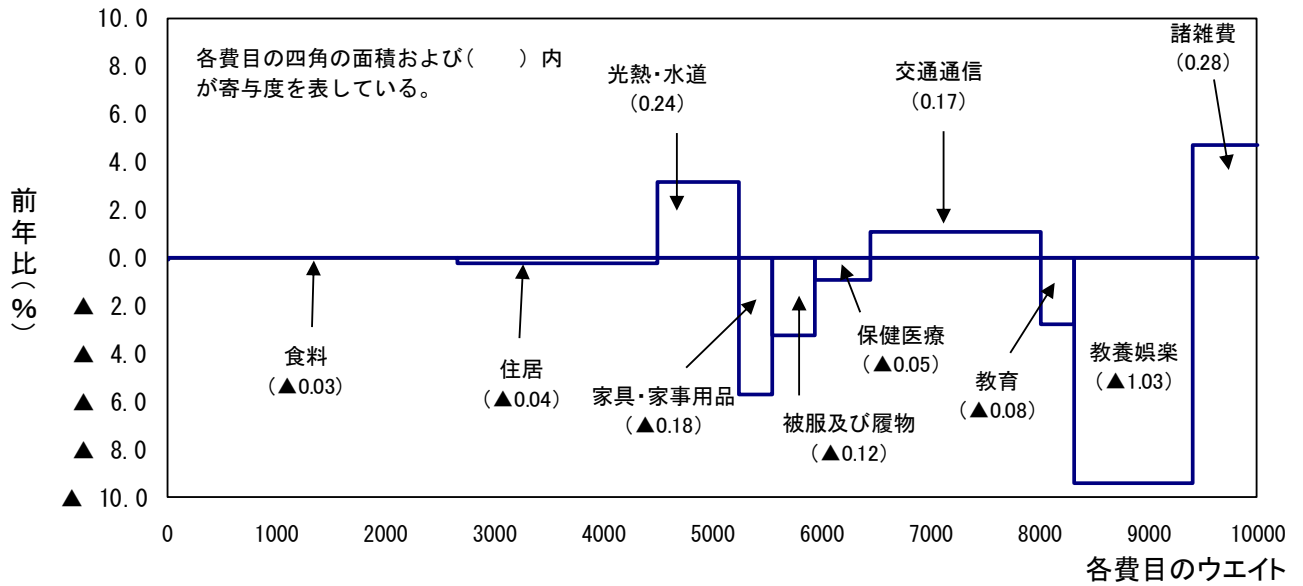
	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	99.2	99.9	99.8	103.2	94.3	96.8	99.1	101.1	97.2	90.6	104.7
前年比(%)	▲0.9	▲0.1	▲0.2	3.2	▲5.7	▲3.2	▲0.9	1.1	▲2.8	▲9.4	4.7
寄与度		▲0.03	▲0.04	0.24	▲0.18	▲0.12	▲0.05	0.17	▲0.08	▲1.03	0.28

注 1) 各寄与度は、総合指数の前月比に対するものです。

2) 寄与度は、平成22年基準消費者物価指数から、端数処理前の指数により計算されています。

図2 10大費目指数の前年比および寄与度

(H22=100)



* 各費目のウエイトはP21を参照

〔寄与度の大きい費目〕

費目	主な内訳(寄与度)
家具・家事用品	家庭用耐久財(▲0.14)
教養娯楽	教養娯楽用耐久財(▲0.74)、教養娯楽用品(▲0.20)
光熱・水道	他の光熱(0.10)
交通通信	自動車等関係費(0.20)
諸雑費	たばこ(0.17)、他の諸雑費(0.12)